

東リ NWシリーズ／NW-EXシリーズ メンテナンスマニュアル



日常メンテナンスはなぜ大切？

キレイを保つための最適なメンテナンス

住まいのお掃除に、大掃除と毎日の簡単なお掃除があるように、お店やオフィスにも本来は定期的な専門のお掃除と毎日のお掃除が必要です。ホコリや汚れは毎日積み重なっていきます。

美しい状態を保つためには、どのような床材も毎日のお掃除＜日常清掃＞を、限られた時間の中で手

際良く、そして美しく仕上げる必要があります。一般のビニル系床材はさらに定期的なワックスメンテナンスを必要としますが、東リ「NWシリーズ」「NW-EXシリーズ」は定期的なワックスメンテナンスを必要としない画期的なビニル系床材です。

汚れは放っておくと手強くなります

衣類から出る綿ボコリや外の空気に混ざった土ボコリ、タバコの煙等、空気中には汚れの原因が常に浮遊しています。床やガラス、家具や備品もこれらの浮遊するホコリに毎日さらされています。

最初はわずかなホコリでも、放っておくとどんどん手に負えなくなってきました。お掃除は、軽い汚れや軽いホコリのうちにキレイにするのが一番良いのです。

東リ「NWシリーズ」「NW-EXシリーズ」の床材も 他のビニル系床材と同じように日々のお手入れが必要です。

私達が生活する環境の中では、必ず「汚れ」が発生してしまいます。外部からの土砂、粉塵の持ち込み、室内からも小さな繊維くず、花粉、フケ、髪の毛からゴミなど、床材に関係なくあらゆる汚れが発生します。

■東リ「NWシリーズ」「NW-EXシリーズ」 のメンテナンス

日常清掃は、床面積の大きな部位では、洗浄力の優れた自動床面洗浄機を推奨します。

自動床面洗浄機を使えない狭い床面積の部位や水を使用しにくい二重床下地の場合のメンテナンス方法をご紹介します。



日常メンテナンスはどのような床材にも必要です

東リ「NWシリーズ」「NW-EXシリーズ」の床材も他のビニル系床材と同じように日々のお手入れが必要です。私達が生活する環境の中では、必ず「汚れ」が発生してしまいます。外部からの土砂、粉塵の持込み、室内からも小さな繊維くず、花粉、フケ、髪の毛からゴミなど、床材に関係なくあらゆる汚れが発生します。

清掃の種類は、
4つに分ける
ことができます。

予防清掃	外部からの土砂・粉塵をマットなどを使って侵入を防止する清掃。
日常清掃	日単位で人が利用することで発生する汚れ、ホコリなど除去する清掃。
定期清掃	月単位で行うお掃除。 (ex. ワックス塗布を行う専門機材を使った清掃)
特別清掃	年単位で行うお掃除。 (ex. 大掃除、ワックスはく離)

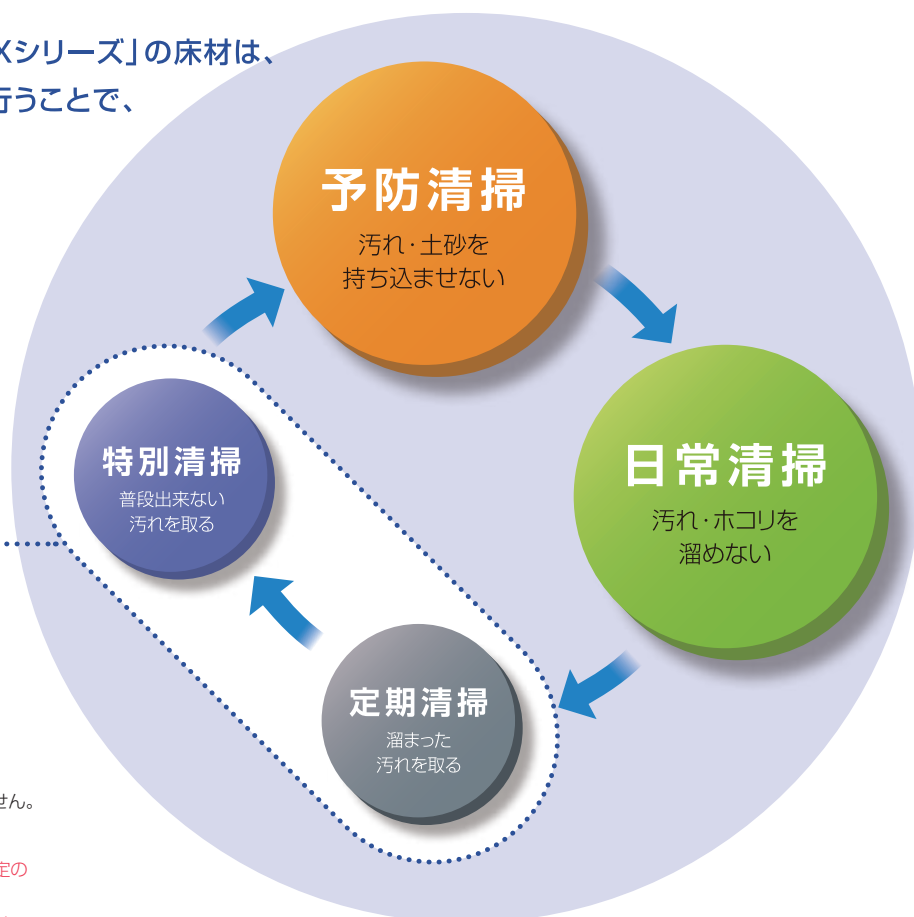
東リ「NWシリーズ」と「NW-EXシリーズ」の床材は、
予防清掃と日常清掃を適切に行うことで、
最大限の効果を発揮します。

床材の保護として行っていた、
洗浄・ワックス塗布作業がなくなります。

東リ「NWシリーズ」と
「NW-EXシリーズ」は
定期清掃 と
特別清掃 が
不要になります。

「NWシリーズ (LCTシリーズ除く)」
ワックスメンテナンスを行っても品質に問題はありません。

「NW-EXシリーズ」「LCTシリーズ」
ワックス液をはじいてしまうため、ワックス塗布には指定の
前処理が必要になります。
詳細は各製品のユーザーズマニュアルをご参照ください。



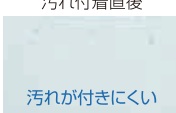
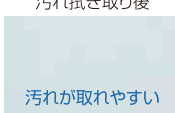



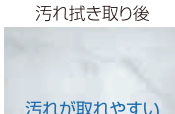
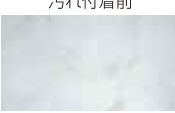

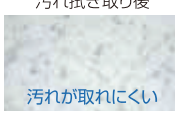


東リ「NWシリーズ」「NW-EXシリーズ」は、ワックスメンテナンスが不要なビニル系床材です。

■東リ「NWシリーズ」「NW-EXシリーズ」のメンテナンスについて

東リ「NWシリーズ」「NW-EXシリーズ」は、耐摩耗性に優れた、「UV樹脂コーティング層」と、「抗菌防汚クリア層」で高い耐久性を実現。汚れが付きにくく、取れやすいため、日常メンテナンスでの美観を維持します。

●耐汚れ試験(耐ブラックヒールマーク) ※試験材料はいずれもワックスを塗布していません。

	汚れ付着前	汚れ付着直後	汚れ拭き取り後	
 NO WAX NW-EXシリーズ		 汚れが付きにくい	 汚れが取れやすい	だから ワックスメンテナンス 不要!
 NO WAX NWシリーズ			 汚れが取れやすい	だから ワックスメンテナンス 不要!
ワックス メンテナンス 軽減商品			 汚れが取れにくい	だから ワックスメンテナンスが 必要

試験方法:JIS K 3920 耐ヒールマーク性試験準拠

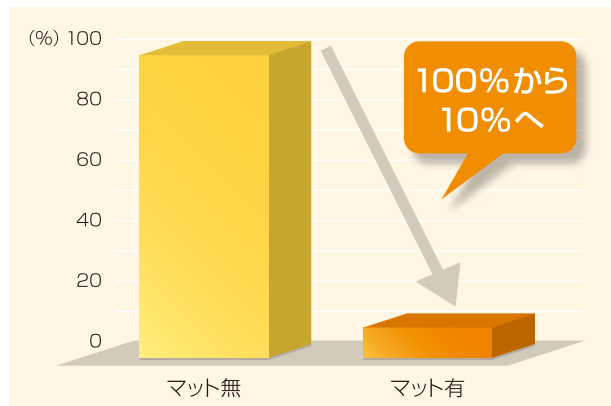
メンテナンスの基本は「予防清掃」

予防 清掃

とは？

外部からの汚れ、特に靴裏に付着して持込みが多くなる土砂、粉塵、汚れなどの、室内への侵入を防止するメンテナンス方法です。具体的にはマットの設置を意味します。風除室におけるマットの設置は大型施設に限られるため基本的な予防清掃のツールは玄関マットです。

■6歩歩行可能なマットによる土砂の除去率



■マットの性能を最大限発揮させるために

マット表面の汚れ及びパイルにたまった土砂・ホコリをできるだけ除去し、キレイに保つことが大切です。

- 1回／日 … 掃除機などを使って土砂・ホコリなど除塵します。
- 1回／週 … マットを逆さまにしてマット奥に溜まった土砂をはたき落とします。
- 1回／月 … デッキブラシと床用洗剤を使って水洗いでマットをリフレッシュさせます。

※尚、レンタルマットは4週に1回交換がありますので月1回のメンテナンスは必要ありません。

■マットの選び方

歩行人数と外部環境を参考に選んでください。(下記CASBEE資料参照) マットの性能は吸水タイプ、吸塵(土砂・ホコリ等)タイプ、吸水・吸塵タイプの大きく3つに分かれます。外から持込まれる汚れのタイプによって使い分けてください。

●CASBEE 参考資料

I 建築物衛生法における特定建築物の場合に評価する取組み

1)汚染源対策

建物外部、内部を問わず、合計 5m 以上の充分な長さのエントランスマットとグレーチングの有無を設置写真の添付にて評価する。室内の汚れの 85% 以上が外部からの土砂の侵入によるものであり、マットは6歩の歩行で 90% 以上の土砂を除去できると報告されている。そこで、これに相当する以上 (5m) の設備の設置を判断基準とした。これによって、建物内部への汚染の侵入を防げ、より快適な機能性を維持できる。

参考：エントランスマットの適正な長さを求める指標

全体のマットの長さ(㎡)：外部環境指数×通行環境指数		
外部環境指数	超郊外の建築物	1.2
	郊外型の建築物	1.0
	都市部の建築物	0.9
通行環境指数	極多(10,000人以上)	13.0
	多(7,000人～10,000人)	10.0
	普通(4,000人～7,000人)	8.0
	少(2,000人～4,000人)	6.0
	極小(2,000人未満)	4.5

※上記人数は1日当たりの推定歩行量数

「日常清掃」が快適な環境を維持

日常 清掃

とは？

普段の生活で発生する汚れのクリーニングや予防清掃を補完する清掃のことを言います。床のお掃除では「掃く」「拭く」「吸う」といった清掃で、必要な道具は自在ほうき、モップや掃除機などを使います。15～20分程度を目安にお掃除に必要なスタッフと場所を決めて行います。毎日1回行うことが基本です。また、汚れを見つけたらすぐ道具を使ってお掃除を行ってください。習慣にすることで、より快適な空間が維持できます。

■ホコリやゴミの除去



お掃除クロスや自在ほうき、掃除機でゴミやホコリ等を除去します。その際、奥のほうから入り口に向かって汚れを除去してください。

■汚れの除去



汚れはモップや固く絞った雑巾を用いて水拭きします。汚れがひどい場合は床用洗剤を使用してください。

※それでも落ちない場合はポリッシャーや固く絞った雑巾で部分的にこすり取ってください。



床面積の大きな部位では、洗浄力の優れた自動床面洗浄機を使用しているだけでより効果的です。

困った際のQ&A

Q. 数日経ってしまい、とれにくくなったヒールマーク(黒い汚れ)はどのように落とせばよいでしょう？

A まず、水で湿らせたモップ(ウェットモップ)をヒールマークの上に置き、モップの上から足の力を利用して踏みながらねじ込むようにして除去します。それでも取り除けない場合は、硬質スポンジを用意し、ヒールマーク跡に洗剤(市販品のアルカリ洗剤、中性タイプでも可)を吹付け床面にキズがつ

かないようこすりながら取り除き、最後はもう一度きれいなウェットモップで仕上げます。

出来る限りヒールマークを見つけたら、その都度除去することを心がけてください。日常清掃の作業で取り除けない場合、専門のクリーニング業者へ依頼し洗浄してもらってください。

Q. 土砂の持込みが多く床材に傷がつきやすく困ります。

A 2つのメンテナンス「予防清掃」「日常清掃」を組み合わせて対応するのが基本です。まず、現状の床材の汚れが付きやすい状況は、どのような原因によって起こっているか、確認が必要です。

1つ考えられることは、靴底に付いた土砂、砂塵などの汚れが外部から落とされることなく室内に入ってきて拡散され、人の歩行によってキズを付けていることが予測できます。

予防清掃としては、土砂や粉塵を集塵するマット設置が必要です。次に、マットで集塵できなかった汚れが室内に入った後、その汚れを毎日のお掃除で取り除く必要があります。毎日、時間をかけずに簡単にお掃除するには、集塵機能がすぐれている除塵モップがおすすめです。

徹底的に土砂・粉塵を除去するには、電気式掃除機でしっかり取り除くことがより効果的です。

Q. 日常のメンテナンスはどれくらい時間を掛ければよいでしょうか？

A 一般的にお掃除にかかる時間は、部屋の広さに関係なく15～20分で仕上げまでの一連の流れを組み立てます。きれいの目線は床に向けられるので、お掃除の時間の60%を床のお掃除にかけることがきれいを保つ方法です。

ハードフロア(ビニル系床材や石床、フローリングなど

硬質面の総称の床名称)の場合、2ステップ方式で行います。最初に、床にある土砂・ホコリなど除塵モップを使用して取り除きます。次に、床表面の汚れを水で湿らせたモップでキレイに仕上げます。汚れが取りにくいところは、床用洗剤を希釈してスプレー噴霧してモップで拭き上げます。

Q. メンテナンス時にワックスを塗布しても大丈夫でしょうか？

A ワックスメンテナンスを行っても「NWシリーズ(LCTシリーズ除く)」の品質に問題はありません。
「NW-EXシリーズ」「LCTシリーズ」はワックス液をはじいてしまうため、
ワックス塗布には指定の前処理が必要になります。
詳細は各製品のユーザーズマニュアルをご参照ください。

お掃除の時間より、短時間で、一人より二人、または複数で分担しながらお掃除をする。
これを毎日の仕事として習慣化させる事が大切です。

東リ「NWシリーズ」「NW-EXシリーズ」のご用命はお近くの東リ営業所まで
【メンテナンスに関するお問い合わせ窓口】

東リお客様相談室 0120-10-6400

受付時間帯：月～金(土日・祝祭日は除く) 9:00～12:00／13:00～17:00